



上野公園の桜(庄原市)

# 会報



庄原ロータリークラブ  
SHOBARA ROTARY CLUB  
2012~2013年度

●例会/火曜日 12:30 庄原グランドホテル  
/夜間例会 19:00 庄原グランドホテル  
●事務局/727-0013 庄原市西本町2-18-8 302号  
TEL.0824-72-5500 FAX.0824-72-5500  
E-mail:s-rotary@alto.ocn.ne.jp  
●会長/滝川 聖治 ●幹事/田邊 良三

## 2013年3月19日例会記録

33号 (883)

■2013年3月26日のプログラム	地区協議会報告
■次回のプログラム	R情報・雑誌会報委員会担当

ビジター紹介 三次中央 RC 沈 勝義会員 (清掃業)

### 会長挨拶

滝川会長



### 「稲森和夫氏の経営哲学」

皆さん今日は。今日は皆さんご存じの稲森和夫氏の経営哲学についてお話いたします。彼は京セラの創業者であり、KDDIの社長であり、JALを復興させた名経営者です。

彼が話していることは、我々ロータリアンの求める職業奉仕に通じるものがあります。それでは4つのポイントを紹介いたします。

1:「リーダー次第で組織は発展したり衰退したりしますが、よい組織には必ず素晴らしいリーダーが存在します。立派なリーダーは自分たち組織の目的を明確にし、さらにその目的に向かうための価値観を部下と共有し集団を引っ張って行くものです。」

2:「立派なリーダーになる上で一番大事なことは自分を捨てることです。リーダーが少しでも利己的な考えを持つと組織は正しく機能しません。つまり超私の奉仕で言うところの「利己」ではなく「利他」の精神です。ですから、リーダーは公明正大な心を持ち、全身全霊で組織に命を吹き込まねばなりません。集団のリーダーが強い使命感を持ち、自分たちのビジョンに向かって純粋な心で打ち込めば、企業経営は勿論、どんな組織でもうまくいくと思います。」

3:「経営者は企業のリーダーとして「人間としてまず何が正しいのか」ということを判断基準にしなければならないと考えます。経営判断をする場合、利害損得で考えがちですが、真の経営者は善悪という基準で判断すべきです。言い換えれば我々が「四つのテスト」で言うところの一つである「真実かどうか」を判断基準にするということです。それでは常に正しい判断をするために必要な人間性はどうかと申しますと、息つく暇もないくらい一生懸命自分に与えられた仕事に打ち込むことです。」

4:「京セラから JAL に持ち込んだ経営手法は、アメンバー経営という手法と経営哲学の2つです。経営哲学については先ほど申しましたが、アメンバー経営について申しますと会社の組織を10人前後で組織する小集団に分けて独立採算性を徹底させる「部門別採算制度」の仕組みを言います。」

以上稲森和夫氏の経営哲学のエッセンスを紹介しました。  
皆さんの経営に参考になれば幸いです。これで会長の時間を終わります。

# 奉仕を通じて平和を

2012~2013年度RI会長  
田中作次

## 幹事報告

1. 本日の配布物・・・①会報No.32号
2. ハイライトよねやま156号
3. 庄原中学校より、入学式のご案内

## 出席報告

会員数 36名      出席者 22名      MU 10名  
欠席者 4名      出席率 88.88%

## スマイル報告

- 沈勝義会員（三次中央RC）・・・メイクアップよろしく！  
赤木会員・・・春間近！  
足立会員・・・3月18日で64歳になりました。  
石田会員・・・マスコミを利用してアベノミクスを追風に3月15日TPP交渉参加を安部首相は表明した。国益を守れないTPP交渉参加には断固反対！  
木原会員・・・64歳になりました。今日は卓話とおお当りの日です。  
田邊会員・・・東京の子供の新築祝に行きました。ありがたいことです。孫にも会え感激です。  
中間会員・・・孫娘が22日小学校を卒業して中学生になります。中学生、小学生、保育園児と逞しく育っています。  
森本会員・・・暖かくなりましたね。やっぱり「ぬくいのがいい」

## ■地区協議会のご案内

福歳次年度幹事

3月20日に開催されます地区協議会ですが、当日は庄原中学校下の駐車場を10時30分に出発しますので、出席される皆さんは宜しくお願いいたします。

## ■プログラム

新入会員卓話（入会5年未満）



## 会員卓話

「ロータリに入会して」      田邊良三会員

私は入会致しまして4年6か月が過ぎようとしております。入会の動機は曖昧であります、勧められるままに入会させて頂いたように思います。

「ロータリーの例会があるので一度足を運んでもらえないか」と誘われまして、お昼ご飯をただで馳走になりました。二回目もただで馳走になり、一宿一飯の恩義ではありませんが、ただでお昼ご飯をご馳走になったことが一番大きな入会の動機であったように思います。もう一点、二回目の例会プログラムが卓話だったように記憶しておりますが、私の印象として、とてもアカデミックな卓話と感じ、ロータリーというのは、このようなアカデミックなこともされるのだなという思いも入会の動機になったのではないかと考えております。

入会しまして、今、私は3つのプレッシャーを感じております。1つ目は、出席のプレッシャーです。2つ目は、バッジの重みというプレッシャーです。3つ目は、プレッシャーとは言わないのかもしれませんが、会費の負担ということです。しかし、プレッシャーばかりかというところでもなくて、こうして皆さんとの出会いを頂いたことは、私の人生の財産だと思っております。それから、私は現